

Ⅶ 学生支援

1 指導教員制度

目的：本学は東海大学の教育方針に基づき、各クラスに原則として専任の指導教員をおく。

指導教員は、学生に対して次の役割を果たす。

- ① 履修方法についての助言
- ② 成績についての指導、助言
- ③ 諸書類提出についての指導、助言
- ④ 修学上必要と認められた事項についての指導、助言
- ⑤ 進路についての指導、助言
- ⑥ その他修学上必要と認められた事項についての指導、助言

なお、入学時から卒業時まで同じ指導教員が学生の指導にあたることを原則としている。

2011 年度の指導教員は以下の通りである。

学 年	クラス	指 導 教 員
1 学年 (11KF 生)	I クラス	今瀬 繁子、千葉 美果
	II クラス	鈴木 陽子 (10 月～)、秋元 とし子 泉 義雄 (4 月-9 月)
2 学年 (10KF 生)	I クラス	瀧澤 直子、新村 直子
	II クラス	林 真理子、後藤 雪絵
3 学年 (09KF 生)	I クラス	望月 好子、阿部 ケエ子
	II クラス	吉野 由美子、蔵本 文乃

2 健康推進室

1) 位置づけ、役割

本学に在学している学生は、看護職を目指しているので、自らの健康意識を高め、日常生活の中で自己の健康管理ができることは最も基本的で重要なことである。そのため、各クラスから保健委員を選出して、学生と教職員とが連携しながら健康意識の向上を目指して活動している。

健康推進の担当は、看護学科の教員 2 名が兼務しているため、講義や実習で不在のこともある。そこで、日常的に学内の他の教職員と連携、協力し、また、隣接している東海大学湘南健康推進室とも緊密に連携しながら業務を遂行している。

構 成 員	
室 長	中田 芳子 (教授)
室 長 付	後藤 雪絵 (助教)

2) 活動概要

定期健康診断は 2010 年度から湘南健康推進室を借用して実施するようになり、次第に連携調整も順調にすすみ準備、実施、片付け等スムーズであった。感染症に関しては、季節性インフルエンザに罹患した学生が数名いた程度であったが、流行の報道があるころから、全学に手洗いやうがいの励行を呼びかけ、教職員と学生とともに感染予防に努めた。

2007 年 4 月からの構内禁煙に伴い、今年度は保健委員会とサポート学生で、スモーキングバスター

ズと命名して活動した。11月の飛鷗祭には『みんなで考えよう禁煙』というテーマで掲示発表と「やにけん」や「禁煙のためのアロマテラピー」の体験コーナーを設置したところ、好評だった。また、7月と2月に校内の吸い殻拾いを行い、校内禁煙に向けて活動した。

今年度の活動状況は表1の通りである。

表1 2011年度年間業務内容

月	日	活 動 内 容
4	2	前期ガイダンス 2・3年生対象に健康管理についてオリエンテーション(定期健康診断、禁煙教育「何故禁煙が必要な?」他)
	3	新入生オリエンテーション(入学式)のための救護待機
	3	前期ガイダンス 新入生対象に健康管理についてオリエンテーション(健康推進室の役割、定期健康診断、禁煙教育「何故禁煙が必要な?」他)
	22	定期健康診断(湘南健康推進室にて)
	22	3年生対象検便検査(赤痢菌、サルモネラ、病原大腸菌、MRSA, O-157) 老人看護実習施設提出用
	26	健康診断欠席者の再検診
	22	B型肝炎ワクチン接種に関する説明(掲示と口頭説明)
		健康推進室期限切れ薬品等の処分と補充
	27	第1回目検尿予備日
5	2	第2回目検尿予備日
6	7	第1回B型肝炎ワクチン接種
	14	B型肝炎ワクチン接種(第1回目未実施者対象)
	6~24	1年生の面接指導: 既往歴がある学生、ツ反強陽性、ツ反陰性の学生、心理面サポートが必要な学生等の学生に対する面接(33名)
	28	第2回B型肝炎ワクチン接種
7	5	B型肝炎ワクチン接種(第2回目未実施者対象)
	13	1年生へ健康診断結果個人票返却
	7	2年生へ健康診断結果個人票返却
8	3	3年生へ健康診断結果個人票返却
		健康推進室整備(夏用掛け物等への交換)
9	1	東海大学短期大学(部)スポーツ大会救護
	7	後期ガイダンス 1・3年生対象に健康管理についてオリエンテーション、禁煙教育「喫煙と健康障害」
	14	後期ガイダンス 1年生対象に健康管理についてオリエンテーション、禁煙教育「喫煙と健康障害」
10		健康推進室整備(冬用掛け物等への交換)
	12	第3回B型肝炎ワクチン接種
	19	B型肝炎ワクチン接種(第3回目未実施者対象)
11	1~3	飛鷗祭にて保健委員が中心となり「禁煙」に関する展示コーナーを開催
	2	飛鷗祭クラス対抗スポーツ大会の救護
	12	推薦入試のため救護準備
12	1, 2	第41回学校法人東海大学健康推進会議参加
1	28	一般入試のため救護準備

3	25	卒業式の救護のため待機
		医薬品在庫調査・医薬品廃棄
		健康推進室の清掃・年報作成

3) 定期健康診断について

学校保健安全法に基づく定期健康診断を 2011 年 4 月 23 日（土）に東海大学湘南健康推進室で実施した。検査項目は全学年対象に身長、体重、尿検査、血圧測定を行ない、胸部エックス線検査は、1 年生全員と 2、3 年生のうち入学時にツベルクリン反応が、陰性と強陽性の学生を対象に実施した。なお、3 年生に対しては、視力検査も行なっている。老年看護学実習施設からの依頼により、検便も併せて実施している。当日の受診率は 98.1%であったが、欠席者に対しても後日実施した。

3 奨学金

1) 各種奨学金

本学では、経済的な援助を必要とする学生のために、本学独自の奨学金制度（東海大学医療技術短期大学奨学金）をはじめ、母里知之学生支援資金奨学金、医療技術短期大学望星奨学金、神奈川県看護師等修学資金、日本学生支援機構奨学金を取り扱っている。

(1) 東海大学医療技術短期大学奨学金（給付）

目 的	東海大学の精神を体得し、将来世界文化の創造発展に寄与する有為な人材の育成に資すること。
資格・条件	年度末終了時の成績優秀な者。1 年は前期成績優秀者。
給 付 額	年額 300,000 円（1 年のみ 後期 150,000 円）

(2) 東海大学医療技術短期大学母里知之学生支援資金奨学金（貸与）

目 的	東海大学の精神を体得し、将来看護学（医療）及び関連領域の創造発展に寄与する有為な人材を育成するために、奨学金の貸与及びその他学生の支援をすること。
資格・条件	① 学業成績、人物ともに良好で、経済的理由により学修が困難な 3 年生。 ② 卒業の翌年度に、東海大学医学部付属 4 病院のいずれかに看護職員として就職を希望する 3 年生。
貸 与 額	3 年次の前期又は後期で、500,000 円を限度とする。

(3) 医療技術短期大学望星奨学金（貸与）

目 的	東海大学建学の精神に立脚した優秀な看護職員の養成に寄与すること。
資格・条件	東海大学医療技術短期大学に在籍し、健康にして、学業・人物共に優れ、経済的支援の必要ある者。
貸 与 額	月額 30,000 円。年 2 回、180,000 円ずつ銀行振込。

(4) 神奈川県看護師等修学資金（貸与）

目 的	将来県内において、保健師、助産師、看護師等の業務に従事する有能な人材を育成するため、貸付に関し必要な事項を定め、もって公衆衛生の向上及び増進を図ること。
資格・条件	県内の看護職養成施設に在学し、成績が優れ、卒業後県内で看護職として従事す

	る意思がある者。
貸与額	月額 20,000 円。四半期毎、60,000 円ずつまとめて銀行振込。

(5) 日本学生支援機構奨学金 (貸与)

目的	優れた学生生徒で経済的理由により修学に困難がある者に対し、学資の貸与等を行うことにより、国家及び社会に有為な人材の育成とともに、教育の機会均等に寄与すること。
資格・条件	人物・学業共に優れ、かつ健康であって、経済的理由により修学困難な者。第一種、第二種ともに成績の基準あり。
貸与額	第一種(無利子) 月額 自宅 30,000 円、53,000 円から選択。 自宅外 30,000 円、60,000 円から選択。 第二種(有利子) 月額 30,000 円、50,000 円、80,000 円、100,000 円、120,000 円のいずれか選択。

2) 受給者状況

奨学金の種類	1年	2年	3年	計
東海大学医療技術短期大学奨学金	2	2	2	6
東海大学医療技術短期大学母里知之学生支援資金奨学金	—	—	0	0
医療技術短期大学望星奨学金	89	77	76	242
神奈川県看護師等修学資金	5	5	4	14
日本学生支援機構奨学金	33	21	18	72

4 その他

1) 人権擁護について

セクシュアル・ハラスメントは、一般的には「性的嫌がらせ」と言われる行為を指す。しかし、セクシュアル・ハラスメントは単なる「嫌がらせ」にとどまらず、人格を深く傷つけ、人の尊厳を害する重大な行為である。本学では、学生が個人としての尊厳を傷つけられることなく、勉学や課外活動のできる環境を作り、維持していくための活動を実施している。また、学園全体としても、「東海大学セクシュアル・ハラスメント人権委員会」を設け積極的に取り組んでいる。

2) 携帯ホームページの利用

本学では、受験生・在學生を対象に、携帯ホームページを立ち上げ情報提供を行っている。受験生向けには、入試情報、オープンキャンパスなどの情報を掲載している。また、在學生には、本学の行事予定、授業・試験関係、奨学金関係、国家試験関係など最新の情報を掲載し、情報入手の支援を行っている。

3) 東海大学のコンピュータの利用

東海大学総合情報センターのコンピュータ施設には、各種サーバなど大型のコンピュータからパ

ソコンまで、多数のコンピュータが用意されている。所定の手続きをすることにより利用できる。

4) 東海大学図書館の利用

開館時間は次のとおりとなっている。

曜日	授業・試験期間	左記以外の時間
月～金	9:00～19:00	9:00～17:00
土	9:00～16:00	9:00～16:00

○日曜日、国民の祝日、本学の定める休業日が閉館日となっている。

貸出・返却の期間・冊数は次のとおりである。

	冊数	期間	期間の更新
一般貸出	5冊以内	2週間以内	可(1回のみ)
特別貸出	2冊以内	指定日以内	可(1回のみ)
視聴覚資料	1点	1週間以内	不可

5) 学生相談窓口、学生生活支援室 (CLIC) の利用

東海大学湘南健康推進室の学生相談窓口は、学園内の専門機関として、困った時の相談や、自分を理解し向上させるための支援など、学生生活すべてにわたる援助活動を行っている。

東海大学学生支援課 (CLIC) は、学生生活をサポートする総合相談・案内窓口である。相談員が親身になって学生からの相談に応じたり、相談の内容によっては、専門の部門・スタッフへの紹介も行っている。

6) 購買・食堂・書店の利用

隣接する東海大学内には「栄養・休養・教養」を賄うアメニティプラザ B a Bをはじめ、教科書、専門書、一般書、文庫、辞書、雑誌など約9万冊を販売する紀伊国屋書店東海大学ブックセンターがあり、学生割引で利用できる。

7) スポーツ教育センターの利用

東海大学スポーツ教育センターでは、大学スポーツの情報提供や学生・教職員向けにスポーツ施設の開放、スポーツ用具の貸出しを行っている。スポーツ活動・健康増進、学生・教職員との交流の場として積極的に活用されている。

8) りんどう寮の利用

りんどう寮は東海大学医学部附属病院の管理下であり、病院の協力を得て、本学学生が実習の時に利用することができる。

9) 利用できる宿泊施設

学生ならびに教職員の融和を保ち、かつ学生教科外活動の一端として、学生生活を豊かにするため、次の施設が利用されている。

◇山中湖セミナーハウス

富士山を背景にカラマツ林の中にあり 96 年 4 月にオープンした新しい宿泊施設。

(所在地：山梨県南都留郡山中湖村山中 323-1)

◇嬭恋高原研修センター

施設も充実しており、テニス・ハイキング・スキーなど色々なスポーツを楽しむことが可能である。

(所在地：群馬県吾妻郡妻恋村大字干俣 2401)

◇三保研修館

景勝の地、三保半島の先端にある社会教育センターの施設内の宿泊施設。

(所在地：静岡県清水市三保 2438)

◇銀嶺荘

春香山の標高 700m の地点に位置し、広大な石狩湾を展望することが可能。

(所在地：北海道札幌市南区定山溪国有地第 85 林班 3)

◇白馬山荘

白馬三山を背に梅池高原玄関口に位置する快適な所であり、夏は避暑・合宿、冬はスキー等に利用できる。(所在地：長野県北安曇郡小谷村梅池高原親の原)

◇緑樹山荘

静かな自然環境の中で自炊、ランプ生活を体験することのできる山小屋である。

(所在地：福島県福島市李平字釜ヶ沢)

◇不知火センター

緑と岬と青い海がおりなす戸馳島にあり、熊本市より車で約 60 分のリゾートである。

(所在地：熊本市字城市戸馳 7 番地)

◇湘南クラブハウス

学生会活動・公認団体の課外活動・ゼミなどのための宿泊施設となっている。

(所在地：神奈川県平塚市真田 405)